

チャネルキャットフィッシュの導入試験

後藤悦郎

チャネルキャットフィッシュの当県での養殖魚としての可能性を探るため昭和57年6月に埼玉県水産試験場より1,700尾のふ化稚魚を導入したものを58年度に引き続き養成を行っている。

屋外の280 m^2 池(底面は泥で水深約1 m)1面に221尾を收容して河川水で飼育した。飼育餌料は日本農産製コイ用配合餌料を用いた。

5月9日に31尾を取り揚げて体長と体重を測定した。体長は最小10 cm 、最大25 cm 、平均17 cm で体重は最小30 g 、最大320 g 、平均122 g でありかなり大きさにバラツキがあった。(図-1, 2)

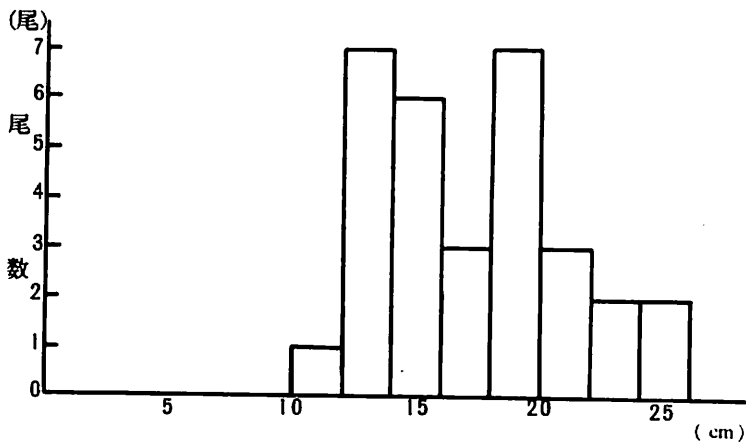


図1 体長組成

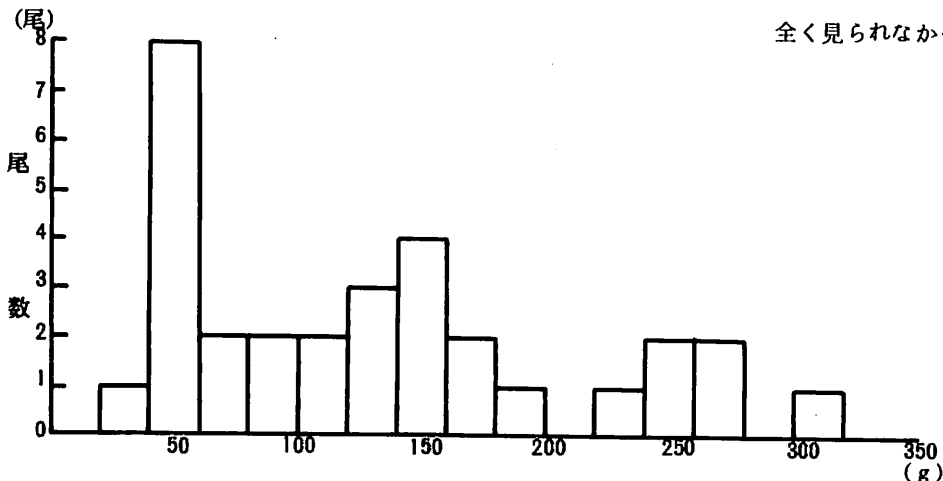


図2 体重組成

バラツキの原因については58年度に5,000 m^2 素堀り池に收容し、天然に発生する餌料のみで飼育することを試みた。秋期に取り揚げた所やせており、あまり摂餌していないことが判明、そのために起きたのではないかとと思われる。

飼育期間中の斃死は全く見られなかった。